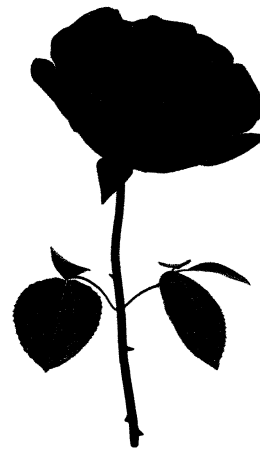


令和3年度事業報告

社会福祉法人同仁会

理事長・施設長 柿添 信義



令和3年度事業報告

社会福祉法人同仁会

1. 社会福祉法人同仁会経営の原則

この法人は、社会福祉事業の主たる担い手としてふさわしい事業を确实、効果的かつ適正に行うため、自主的にその経営基盤の強化を図るとともに、その提供する福祉サービスの質の向上並びに事業経営の透明性の確保を図り、もって地域福祉の推進に努めるものとする。

2. 介護の基本理念

高齢者が自らの意志に基づき自立した質の高い生活を送ることができるように支援していく。(自立支援の原則に沿って利用者個々の QOL の向上を目指す。)

3. 施設の理念及び方針

- (1) 利用者に対して尊敬の念を持ち、個性を尊重し利用者、家族の意向を十分取り入れた介護計画に沿って、利用者個人がサービスを決定できるよう援助し、より良いサービス提供に努める。
- (2) 地域への貢献を念頭に、家族・地域住民との連携を密にし、情報の公開、提供及び施設開放に努める。
- (3) 施設は、適切な経営を行えるよう研鑽を重ね、基盤強化、効率化に努める。
- (4) 個人情報保護の遵守

4. 今年度最重点目標

新型コロナウイルスの侵入阻止（マニュアルの徹底）！

利用者のご家族との“きずな”を支援していこう！

全職員が基本に還り、外部から評価される事業所を目指そう！

(1) 利用者様中心に（小さな変化を見逃さない）

利用者の残存維持に努めよう・家族とのつながりを深めよう

苦情及びリスク管理の構築

(2) 全員で取り組むケアの質の向上

施設内研修の充実（全員が講師になって）

「なぜ・どうして」を常に意識していく仕組み

(3) 法人としてのガバナンスの強化・コンプライアンス維持の徹底

社会福祉法人として「法令順守」は当然のことであり、職員全員が意識して取り組んでいく、研修体制を確立する。社会人としての常識あるモラルの徹底。

5. 施設・事業所重点目標

(1) 利用者様に対して出来ることはしていただき、出来ないことを支援していく仕組みの確立（残存機能を意識して）リスク管理の構築 リハビリテーションの充実

(2) 嘱託医との連携・看取り介護の充実

(3) 職員が働きやすい環境整備

「働き方改革」を推進していく仕組みの構築、有給休暇の計画取得に向け取り組んでいく。

(4) 職員の資質向上・人材育成

職員全員がスキルアップを目指し、資格取得へ積極的に取り組む。外部講師を招聘し、新人教育及び職員研修の充実を図っていく。

・資格取得のための支援（環境支援）

・OJT・エルダー制度の確立（新人教育及び外国人教育の充実）

（5）情報公開の確立

「かごしま子育て応援企業」及び「ユースエール認定」としての誇りを持ち前向きに取り組んでいく

ホームページによる情報開示・財務内容の開示

さつま園だよりの定期発行・各種チラシ等の作成

（6）財政基盤の強化

職員個々が経費節減に努め、安定した法人経営の実践

（7）人材確保・離職防止

人材確保に関して、ホームページ等で外部へ法人の魅力を発信することにより応募をしやすいように工夫していく、研修会の充実を図り法人職員としてのスキルアップ及び給与体系の充実を図っていく。

（8）地域との連携及び社会活動への取り組み

地域に根ざした福祉拠点としての活動、地域交流室の開放及び利用者を含め地域活動へ積極的に参加・貢献していく。認知症の方への理解と支援を推進し、オレンジカフェの広報活動 思いやりネットワークによる地域貢献活動の実践

（9）職員のメンタルケア

職員のストレスチェックを通して「心の健康づくり」の保持増進を図る。

新型コロナウイルスが出現して2年半が経過したが、終息はおろか逆に猛威を続けている。さつま園・デイサービスセンター・ヘルパーステーションにしてもこれまで感染は見られず、職員の努力が続いている。また、施設は無理であるが、デイサービスの方々にはマスクの着用を継続していただき、今の所はトラブルもなく有り難くお礼を言っている状況である。施設は未だ面会制限を続けているが、ご利用者のためにも早く自由に面会が出来るようになればと願うばかりである。ラインでの面会は継続中。

【外国人雇用について】

昨年2月から面接採用してきたが、2名は病気等で来日は不可能となり、改めて面接の結果、幸いにも2名の採用が出来ました。今か今かと待っていましたが、

日本政府の制限措置が長く続き、その後緩和策が報じられ、今回やっと来日することが出来ました。ビザの関係で1名は遅れてきますが、3名は5月23日来日、羽田近くのホテルに滞在してPCR検査を受け問題なかったら5月27日に来鹿と決定いたしました。これまで職員達には文化の違いやあくまで仕事に来るということを忘れず早く慣れるよう指導することを指示したところです。色々トラブルもあるかもしれませんが、熊田部落の方たちにも協力いただき、日本での生活がスムーズに出来るよう支援していきたいと思います。期限は5年間と決まっています、5年の間に「介護福祉士」の資格を取るよう協力もしていきますが、あとは本人たちの気持ち次第だと早めに指導していきたいと思います。一つ気になるのは、「特定技能」は、本人たちがさつま園では働きたくないと考え他施設に移ることは自由となっています、そのようなことが起きないように我々も頑張りたいと思います。

【一部改修について】

CALM館への入浴室増床、相談室の拡張工事、男子・女子のロッカールーム移室工事全ての工事が終了いたしました。少し予算オーバーでしたが、入浴でのロスの解消、新型コロナウイルスの対策も実現できました。

【人材確保】

心配していました、デイサービスでの看護師、さつま園の看護師採用に関しまして、しばらく見つからず苦戦いたしました。やっと両事業所も採用することが出来ました。外国人の採用も合わせ今の所人材確保は出来ているものと思っています。

【待機者状況】

大きな変化はない模様であるが、さつま町内の利用者減により他施設も待機者が減っている状況である。当施設も今の所は30名前後を推移しているが、徐々に減数になっていくものと思われる。さらに利用者家族との連携が必要になってくる。県内を見ていると待機者もいない、逆に空床の施設も目立ち始めている地区もあるため、今後対策が必要になるものと思われる。






【在宅部門について】

まずヘルパーステーションについてですが、現在サービス責任者を含め5名のスタッフで在宅での支援を実施しています、ヘルパーさん達も年を重ね、また介護についても厳しい状況となっている現状を考え、新規の職員の募集を掛けたいと思っておりますが、募集かけたとしても応募の可能性は殆どない状況であり、

ヘルパーさん達にも後一年頑張ってくださいようお願いしていることから事業自体の存続は難しいと考えています。今後さつま町当局と協議しながら対策を考えていきたいと思っています。次にデイサービスセンターについて、新型コロナウイルスに関連して休まれる利用者も多くなった要因のため利用数がかなりの減数となっており、収支に関しても赤字経営となっています。コロナの終息が見えないことより今後もこの状態が続くのではないかと懸念しています。今以上の経費節減をするよう指示してまいります。逆に居宅介護支援事業所に関しては、順調に新規の利用者が増えていく見通しであり、ケアマネージャーが頑張っている状況である。在宅介護支援センターは、介護保険事業に関して説明する立場から在宅者への情報を早くキャッチし、認知症の方々への支援の取り組みの充実が図られるよう努めています。また、オレンジカフェがコロナのため2年間実施していないことより、今後さつま町内の他事業者と連携を取り、開催に向けて取り組んでいきたいと思っています。

【運営状況】

全国の特養部会収支状況について、令和2年度は全体の40.7%が赤字経営となっている報告がありましたが、当法人においても総体的に1600万円程の赤字となっている。要因としては、色々考えられるが、在宅部門においては、やはりコロナの影響が強く出ている。施設に関しては、前半は入院者も少なく、今年度は期待されたが、後半になり入院者が多く見られるようになり、やはり厳しい状況となった。その分ショートステイでカバーすべく努力してくれたが、絶対的安定まではいかなかったため700万円ほどの赤字となったようである。人件費率も全体で69.7%となっており、今後さらに厳しい状況は続くものと思われる。また、ロシアのウクライナ侵攻以来物価上昇が続いており、特に燃料費等がかなりの高騰を示しており、これから暑い夏を控えさらに厳しくなっていくものと思われる。これの解消には、光熱水費の節減や経費節減の徹底が必要となるため職員の協力体制を果たしていく。

理事長	施設長	副施設長	事務長	総務課長
				

令和3年度 法人本部事業報告

社会福祉法人同仁会

令和3年度 事業報告書

1、会務の状況

(1) 理事会、評議員会、監事監査、評議員選任・解任委員会等の状況

1) 理事会

① 第1回理事会

日時	令和3年6月4日(金) 14時00分から15時30分
場所	特別養護老人ホームさつま園 Calm癒し館 地域交流室
議案	第1号議案 令和2年度 事業報告の承認について
	第2号議案 令和2年度 収支決算の承認について
	第3号議案 社会福祉法人同仁会 第21期 理事・監事候補者について
	第4号議案 社会福祉法人同仁会 第10期 評議員候補者について
	第5号議案 特別養護老人ホームさつま園 Calm 館特浴室増設及び 本館改修工事について
	第6号議案 改修工事に伴う施設整備資金積立金取崩しの承認について
	第7号議案 社会福祉法人同仁会 定款一部変更について
	第8号議案 令和3年度 第1回評議員会の開催(案)について
【報告事項】	1) 職員の異動について

② 第2回理事会

日時	令和3年6月18日(金) 16時00分から16時30分
場所	特別養護老人ホームさつま園 Calm癒し館 地域交流室
議案	第1号議案 社会福祉法人同仁会 第21期 理事長の選任について
	第2号議案 社会福祉法人同仁会 第21期 業務執行理事の選任について

③ 第3回理事会

日時	令和3年10月(書面開催)
議案	第1号議案 令和3年度 第1回 理事長及び業務執行理事の業務執行報告について

④ 第4回理事会

日時	令和3年12月10日(金) 14時00分から15時00分
場所	特別養護老人ホームさつま園 Calm癒し館 地域交流室
議案	第1号議案 令和3年度 第1次補正予算(案)の承認について
	第2号議案 令和3年度 第2回評議員会の開催(案)の承認について
【報告事項】	1) 令和3年度における指導監査(書面監査)結果について
	2) 職員の異動について

⑤ 第5回理事会

- 日時 令和4年3月10日(木) 14時00分から16時00分
場所 特別養護老人ホームさつま園 Calm癒し館 地域交流室
議案 第1号議案 令和3年度 第2次補正予算(案)の承認について
第2号議案 令和4年度 事業計画(案)の承認について
第3号議案 令和4年度 当初予算(案)の承認について
第4号議案 令和4年度 会社役員賠償責任保険の契約(更新)について
第5号議案 給与規程一部改正(案)の承認について
第6号議案 非常勤職員就業規則一部改正(案)の承認について
第7号議案 ヘルパー就業規則一部改正(案)の承認について
第8号議案 育児・介護休業規程一部改正(案)の承認について
第9号議案 改修工事に伴う施設整備資金積立金取崩しの承認について
第10号議案 令和3年度 第3回評議員会の開催(案)の承認について
第11号議案 令和3年度 第2回理事長及び業務執行理事の業務執行報告(案)について
- 【報告事項】 1) 特浴室増設及び本館改修工事の進捗状況について
2) 職員の異動について

2) 評議員会

① 第1回評議員会

- 日時 令和3年6月18日(金) 14時00分から15時00分
場所 特別養護老人ホームさつま園 Calm癒し館 地域交流室
議案 第1号議案 令和2年度 事業報告の承認について
第2号議案 令和2年度 収支決算の承認について
第3号議案 社会福祉法人同仁会 第21期 理事・監事の選任について
第4号議案 特別養護老人ホームさつま園 Calm館特浴室増設及び本館改修工事について
第5号議案 改修工事に伴う施設整備資金積立金取崩しの承認について
第6号議案 社会福祉法人同仁会 定款一部変更について
- 【報告事項】 1) 職員の異動について

② 第2回評議員会

- 日時 令和3年12月17日(金) 14時00分から15時00分
場所 特別養護老人ホームさつま園 Calm癒し館 地域交流室
議案 第1号議案 令和3年度 第1次補正予算(案)の承認について
- 【報告事項】 1) 令和3年度における指導監査(書面監査)結果について
2) 職員の異動について

③ 第3回評議員会

日 時	令和4年3月18日(水) 14時00分から16時00分
場 所	特別養護老人ホームさつま園 Calm癒し館 地域交流室
議 案	第1号議案 令和3年度 第2次補正予算(案)の承認について 第2号議案 令和4年度 事業計画(案)の承認について 第3号議案 令和4年度 当初予算(案)の承認について 第4号議案 給与規程一部改正(案)の承認について 第5号議案 非常勤職員就業規則一部改正(案)の承認について 第6号議案 ヘルパー就業規則一部改正(案)の承認について 第7号議案 育児・介護休業規程一部改正(案)の承認について 第8号議案 改修工事に伴う施設整備資金積立金取崩しの承認について
【報告事項】	1) 特浴室増設及び本館改修工事の進捗状況について 2) 職員の異動について

3) 監事監査

日 時	令和3年5月28日(金) 10時00分から15時00分
場 所	特別養護老人ホームさつま園 Calm癒し館 地域交流室
内 容	1) 社会福祉法人同仁会役員等の業務について 2) 令和2年度事業及び決算について

4) 内部経理監査

日 時	令和3年10月22日(金) 14時00分から15時00分
場 所	さつま園事務所及び地域交流室
業 務	会計処理等について
実施者	施設管理次長 井ノ原 邦彦 業務管理次長 上原 耕三

5) 評議員選任・解任委員会

日 時	令和3年6月4日(金) 16時00分から16時30分
場 所	特別養護老人ホームさつま園 Calm癒し館 地域交流室
議 案	第1号議案 社会福祉法人同仁会 第10期 評議員選任について

2. 総務・事務

目標

- ①物品係との連携を図り、発注漏れの無いようにする。
- ②価格調査を実施し、経費節減を図る。
- ③年休簿・リフレッシュ休暇簿の更新を確実に行う。
- ④研修の把握をする。
- ⑤節電・節約を周知する。
- ⑥健康診断・腰痛検査等の予定を早期に計画する。
- ⑦来園者への丁寧な接客を行う。
- ⑧福利厚生の実施を図る。

反省

- ①物品係と常に連携を取り、発注漏れ等は無くスムーズに行えた。
- ②価格調査は、物品毎に行い同じ質で安価な物を提供できた。
- ③年休簿・リフレッシュ休暇簿の更新は確実にを行い、年休 10 日以上付与されている職員に対し声掛けを行い年休 5 日取得が確実に出来た。
- ④ 職員一人一人の研修会参加の把握は出来ており、また、コロナ感染症対策としてオンライン研修での参加で個々のスキルアップを図りました。
- ⑥ 節電・節約の周知は行えたが徹底出来ていない事もあり、再度周知徹底を行い経費節減に取り組んでいく。
- ⑦ 健康診断・腰痛検査は予定通りの実施が出来ていた。
- ⑧ コロナ感染症予防で、ご家族の面会は制限しており、電話での問い合わせ等多く丁寧に説明し理解を得てきました。中には「まだ面会できないの」と、少し不満を持つ方への対応もあり悩むこともありました。
- ⑨ コロナ感染症対策に取り組む職員の労をねぎらう意味で、2 回目の抽選会を実施し、職員にとっても喜んでもらいました。

3. 事業の成果

(1) 固定資産取得支出

①器具及び備品

◎特別養護老人ホームさつま園

	品名	数量	金額
1	タッチレス水栓	5 台	650,000 円
2	スチール製ストレッチャー	1 台	236,500 円
3	昇降式シャワートロリー・コンチェルト	1 台	1,452,000 円
4	ノートパソコン	1 台	102,740 円

(2) 修繕費・福利厚生費等

①修繕費

◎特別養護老人ホームさつま園

	品名	数量	金額
1	自家発電設備基本メンテナンス作業	一式	176,000 円
2	空調循環ポンプ交換作業	一式	286,000 円
3	自動ドア修理工事	一式	253,000 円
4	相談室 LAN 配線工事	一式	302,500 円

◎さつま園デイサービスセンター

	品名	数量	金額
1	正面風除室	一式	264,000 円
2	天井埋込型 LED 照明取替	一式	140,000 円

②福利厚生費

◎法人本部

	品名	金額
1	役員賠償責任保険	83,500 円

◎特別養護老人ホームさつま園

	品名	金額
1	看護師傷害保険料 (4 名)	16,160 円
2	職員一般傷害保険料	536,640 円
3	健康診断料 (夜勤者 21 名)	140,910 円
4	腰椎検診料 (年 2 回)	299,180 円
5	インフルエンザ 予防接種代 (55 名実施)	173,800 円
6	健康診断料	322,464 円
7	職員抽選会経費	80,832 円
8	永年勤続表彰 (4 名)	107,630 円
9	抗原検査キット	51,260 円

◎さつま園デイサービスセンター

	品名	金額
1	腰椎検診料 (11 名)	49,742 円
2	インフルエンザ 予防接種代 (11 名実施)	44,000 円
3	健康診断料 (11 名)	65,811 円
4	腰椎検診料 (年 2 回)	49,742 円

◎さつま園在宅介護支援センター

	品名	金額
1	インフルエンザ 予防接種代 (1 名分)	4,000 円
2	健康診断料 (1 名分)	6,804 円

◎さつま園ヘルパーステーション

	品名	金額
1	インフルエンザ 予防接種代 (5 名分)	11,900 円
2	健康診断料 (1 名分)	6,804 円

◎居宅介護支援事業所さつま園

	品名	金額
1	インフルエンザ 予防接種代 (2 名分)	8,000 円
2	健康診断料 (2 名分)	13,608 円

(3) その他の事業収入

◎特別養護老人ホームさつま園

	品名	金額
1	新卒採用就労支援奨励金	100,000 円
2	新型コロナウイルス感染症防止対策支援金	10,000 円
3	外国人留学生介護福祉士候補者受入施設 学習支援事業補助金	200,000 円
4	介護事業所サービス継続支援事業費補助金	70,000 円

◎さつま園デイサービスセンター

	品名	金額
1	新型コロナウイルス感染症防止対策支援金	10,000 円

◎さつま園ヘルパーステーション

	品名	金額
1	新型コロナウイルス感染症防止対策支援金	10,000 円

◎居宅介護支援事業所さつま園

	品名	金額
1	新型コロナウイルス感染症防止対策支援金	10,000 円

(4) 介護保険事業

1) 施設・各事業所

①介護老人福祉施設（特別養護老人ホームさつま園）

利用者定員 70名（従来型個室20名）（多床室50名）

・延べ利用者数 24,427名（66.92人/日）稼働率95.6%

前年度比101.7%（402名増）

さつま園会計支出按分比率 89%

②短期入所生活介護事業（ショートステイ）

利用者定員 10名

・延べ利用者数 3,213名（8.8名/日）稼働率88%

前年度比81.2%（746名減）

ショートステイ会計支出按分比率 11%

③通所介護事業所（さつま園デイサービスセンター）

利用者定員 40名

- ・延べ利用者数 7,491名（24.56名/日）営業日数 305日
- 介護延べ 4,597名 前年度比 106.4% 278名増
- 予防延べ 2,641名 前年度比 81.9% 583名減
- 総合事業延べ 253名 前年度比 50.4% 249名減

⑤訪問介護事業所（さつま園ヘルパーステーション）

- ・延べ利用者時間 2,191時間00分 前年度比：512時間45分減
- 実人数 39名（前年度比 1名増）
- 身体介護 608時間00分（1,143件）前年度比 8時間00分増
- 生活援助 599時間00分（612件）前年度比 152時間45分増
- 身体生活 245時間00分（230件）前年度比 302時間30分減
- 総合事業 739時間00分（739件）前年度比 371時間00分減





⑤居宅介護支援事業（居宅介護支援事業所さつま園）

- ・介護計画作成件数
- 介護給付 1,012件 前年度比 108.2% 77件増
- 予防給付 106件 前年度比 68.4% 49件減（事業対象31件含む）
- 合計 1,118件 前年度比 102.6% 28件増

(5) 委託事業（さつま町委託事業）

1) 在宅介護支援事業（さつま園在宅介護支援センター）

- ・さつま町在宅介護支援センター総合相談業務委託
- 年間延べ相談件数 105件 前年度比 108.2%（8件増）
- ・さつま町認知症カフェ設置業務委託
- 新型コロナウイルス感染予防対策のため開催無し
- ・ふれあいサロン、ころばん教室等への参加

理事長	施設長	副施設長	事務長
			

令和3年度

さつま園事業実績報告

(介護老人福祉施設事業)

(短期入所生活介護事業)

令和4年5月
さつま園

令和3年度 目標・評価

施設管理課

1. 令和3年度介護報酬改定にかかる科学的介護の推進
2. 適切な施設経営を行うための効率化、稼働率の高水準確保に努める。
(長期入院の場合の退所の見極めと利用者及び家族への十分な説明とフォローの実施)
3. 地域との連携を強化し、利用者と地域との交流をもてるように努める。
4. 地域包括ケアシステム推進の観点から、施設での看取り介護についての啓発と実施を図る。
5. 短期入所に関する啓発を図り、利用促進につなげる。
6. 入所待機者の把握に努め、スムーズな入所につなげる。合わせて、地域への啓発・広報を強化し入所待機者の確保を図る。
7. 記録・書類の整備

評価；冬場になると体調を崩し入院するケースが目立った。また短期入所の利用者も秋から冬にかけて減少が目立ったが、現在は利用がやや回復してきている。

コロナウイルス感染症収束を期待して計画したが、感染症が収束しなかった影響もあり地域との交流の機会をつくるのが難しかった。昨今の感染状況を鑑みるとやむを得ない結果であった。

感染症の懸念される状況下においても看取り介護は重要な責務と考え、居室の設定など工夫を行い、できる限り看取り介護の機会が持てるように努め、実施することができた。

短期入所利用や待機者のスムーズな入所については関係者との情報共有を図り連携を図っている。

介護職員

1. 基本的な介護の確実な実施（初心にかえり、丁寧に必要な介護を提供する。）
2. 事故がなく、利用者が毎日を安心して過ごせるように努める。
3. 報告・連絡・相談に努め、職種間、多床室、個室職員間等、些細なことでも情報共有し、連携を徹底する。

評価；スライディングボードやリフトなど、移乗・移動用の道具を意識的に活用し、安全な介護を行うことができた。

圧迫骨折等はあったが、剥離などの事故は例年に比べると減少しており、早めの対策・予防に努めることができたと考える。

報告・連絡・相談について、介護職員間で発言しやすい雰囲気心がけ、密に連絡を取り合うことができた。反面、他職種との連携については情報共有不足の面もあり連携の強化が必要と感じた。今後も業務改善のための時間を持ちたいと考える。

看護職員

1. 利用者の体調変化には早めに気づき、的確な対応に努める。
2. 医療機関との連携を密にし、必要時の適切な対応が出来るように努める。
3. 職種間の連携を図り、必要な医療行為を適切に行う。
4. 看取り介護、中重度者介護に積極的に取り組む。
5. 看護記録を充実させる。

評価；主治医やその他医療機関との連携を図り、利用者の体調の変化に早めに気付けるように努めた。また、家族等関係者との情報共有に努め、利用者の状態伝達や意向確認につながった。

感染症の予防を図ると同時に看取り介護実施のための工夫を行い、実施につなげることができた。

機能訓練

1. 他職種と個々の利用者様の情報を共有し、日常生活の中で訓練を取り入れ、機能維持・向上を図る。
2. 良肢位を徹底し拘縮の進行防止に努める。
3. 機能訓練計画の作成、実施、評価を確実に行う。

評価；日常生活の中での訓練を取り入れ実施している。利用者の身体状況にあった機能訓練を提供しており、リラクゼーション、レクリエーションの要素も取り入れて楽しんでもらいながら実施できる機能訓練を工夫している。

管理栄養士・栄養士

1. 他職員との連携を図る。
2. 利用者様個々の食事形態の評価を随時行っていく。
3. 栄養マネジメント・栄養計画を確実に行う。
4. 厨房内の衛生管理を行い、安全な食事提供をする。
5. 日清医療食品との連携を図る。
6. 利用者様の喜んでいただける食事提供をしていく。
7. 給食委員会での協議事項を反映させる。

評価；多職種連携に努め、必要に応じて検討しながらマネジメントを進めている。

日清医療食品との連携に努め、ヒヤリハットなどの事例に対しては、早急の対応、解決が図れるように努めた。

情報を収集し、利用者喜んでもらえる食事の提供に努めた。

専門部

行事レクリエーション係

- ① 一年間を通じて利用者様に楽しんでいただく行事の企画とスタッフへの指導
- ② 集団活動の内容を係で構成する
- ③ レクリエーション会議を定期的開催して活動内容の充実を図る。

※定期的に検討会を開催。記録及び周知に努める。

評価；行事については、1年間を通じて実施することができたが、コロナ感染症予防の影響で多床室と個室とで分かれて行うことが多かった。今後は合同で実施できるように進めていきたい。

係員だけでなく、その他のスタッフにも協力をもらえるようにしていきたい。計画の提示が遅れがちになっていたこともあり、早めの提示、周知に努めたい。

係の検討会は計画的に行うようにしていたが、計画どおり行かないこともあった。で

きる限り計画に沿って進めたい。

給食係

- ① 利用者様個々に合った食事の提供に努める。
- ② 食事摂取量・水分摂取量のチェック体制を強化し把握に努める。
- ③ 栄養士や給食業者と連携する。

※定期的に検討会を開催。記録及び周知に努める。

評価：湯飲みなどの食器の黒ずみが目立っていた。現物を確認するなどして情報提供、共有を図り、気持ちよく清潔な物品を準備できるように努める。

刻みや極刻みなど食事形態の食材の大きさが違うことがあった。管理栄養士、日清医療食品と連携して統一を図る。

食事・水分のチェックはスタッフ間で声かけし、連携が取れ情報共有ができるようになった。

排泄係

- ① 職種間の連携を密にし、利用者一人ひとりの排泄状況を把握しながら情報を共有に努める。
- ② 多職種の意見をもとに検討し適切な排泄支援を提供できるように努める。

評価：職員間の情報共有や細かなアセスメントに基づき、モニタリングを実施し、一人ひとりに合った対策の実施や QOL 維持への努力も出来た。

気候や食事・水分量など排泄の変化、コスト面にも気を配り、皮膚状態や汚染状況など看護職員を中心に随時相談実施。交換時間やパッド種別等は随時の見直し、変更も行い皮膚トラブル防止に努めていた。しかし、膀胱炎・スキントラブルなどが起きている利用者もあり、陰部洗浄やトイレ介助時の洗浄の工夫（ウォシュレット使用など）が不十分な点も考察され、引き続き来年度への課題として努力をしていく。

入浴・衛生管理係

- ① 入浴時の細心の注意を払いながら軽微な事故も起こさないように努める。
- ② 多床室、個室間の連携に努める。
- ③ 口腔ケア実施表を活用し、確実な口腔ケアの実施、確認に努める。

※定期的に検討会を開催。記録及び周知に努める。

評価：皮膚が弱い方や抵抗される方など利用者の状態に合わせて、複数介助を行い、細心の注意を払いながら介助の実施が出来た。入浴中の大きな事故もなく介助が出来た。

多床室・個室の浴室を分けて介助を行うこと入浴の調整や清掃などの実施がスムーズに行えるようになった。

口腔ケア実施票を変更したことでチェックしやすくなったが、依然としてチェック漏れもあるためにチェック体制の徹底に努めたい。口腔ケアについて、歯科医師、歯科衛生等の助言もいただけるようになったため、ケアや改善が行いやすくなった。

リハビリ係

- ① 日常生活の中で活用できる能力を把握し実践する。

- ② 職員間の連携に努め、利用者一人ひとりにあった機能訓練を提供する。
- ③ 介護に必要な道具を活用する。

評価；ポジショニングや車いすなどの調整は呼びかけなどで多職種で連携できるように努めた。定着が今後の課題である。

リフトやボードの活用ができるようになってきたが、ポジショニンググローブ、スライディングシートの活用が不十分。今後も対象者の検討を行いながら、利用者、介助者双方の負担軽減につなげたい。また、車いすのスイングアウトやアームレストの上下など有効的に活用し事故の軽減にもつなげることができた。

定期的な離床や排泄誘導時の歩行などを日常生活に組みこめていた。残存機能の活用のため、利用者に声掛けしたり、環境を整えたりすることができてきたが、業務の多忙さから意識が低下することもあったようである。

OT 係

- ① 写真を管理し、行事の開催から遅滞なく掲示する。
- ② 菜園活動や梅干づくりなど、全体の行事として計画し実施する。

評価；写真の掲示は可能な限り早急に行った。利用者に見ていただきやすいように工夫して掲示した。

掲示用の画鋏を利用者が手に取ってしまう事例があり、危険に配慮してセロハンテープなどで対応した。今後も安全に掲示するための検討が必要。

菜園活動には他のスタッフの協力もあり、多くの利用者に喜んでもらえた。菜園活動も3年目で定着しつつあり、今後も利用者の楽しみのために継続していきたい。

物品係

- ① 全利用者のリネンの清潔を保てるよう工夫する。
- ② 定期的な棚卸作業を行い、必要な備品の安定的に確保する。

※定期的に検討会を開催。記録及び周知に努める。

評価；包布やシーツの交換は介護補助職員の協力もあり定期的な対応が出来たが、不定期な防水シーツの汚染が目立ち、意識的な交換が出来ていなかった。

物品が過剰在庫となることがあったが、不足することはなく総務課との連携もとれていた。

マットレスは交換のための発注を遅滞なく行うことができた。

実習担当係

- ① 実習生が施設に就職したいと思えるような実習指導に努める。
- ② 感染対策に留意し、実習の受け入れをはかる。
- ③ 学校へ出向き、実技指導、講義などを提供する。

※適宜検討会を開催。記録及び周知に努める。

評価；新型コロナ感染拡大のために施設実習を全面中止したが、実習ができずに不安を抱える生徒に対する支援のため、学校側との協議を重ね、施設職員が指導者となって学校を訪問し、実技指導や講義を行った。訪問時の感染対策や準備などにも留意して指導を行うことができた。

リスク係

- ① 同じような事故を繰り返さないよう、事故報告をもとに対策を講じ、再発防止に努める。
- ② 全職員で連携し利用者の心身や身体状況をみながら介護する。

評価；全体のアクシデント、インシデント件数は減少傾向にあるが、内容として同じような事案が発生している状況にある。再発防止対策について、全職員で協議する場面がなく当事者が作成していることがほとんどであり、その後の統一された対応につながらない場合がある。対応策として各利用者のリスク対策表（再発防止策）を作成し、全職員への周知と同様のリスクに対する再発防止策の実施状況の確認も必要である。

誤薬はスタッフ側の不手際である可能性が高く、重大事故につながる懸念もある。確認手順の再確認と理解と意識のもとで配膳、配薬されなければならない。

24 時間シート係

- ① 24H シートを活用するに機会を作り、利用者にとってより良いケア・統一したケアを目指す。
- ② 多職種から定期的に情報収集し、確実に更新する。

評価；カンファレンスで24時間シートを活用することができ、多職種の意見を書き込むことで内容の濃いシートの作成が出来ているが、更新時の伝達が不十分であった。

特養入所年齢別利用者数

さつま園

令和3年4月 ~ 令和4年3月

印刷日 令和4年6月2日

年 区	齡 分	事業 対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	左記以外	合計
~ 59	男						365(12)		365(12)		730(24)
	女										
	計						365(12)		365(12)		730(24)
60 ~ 64	男										
	女										
	計										
65 ~ 69	男						365(12)				365(12)
	女										
	計						365(12)				365(12)
70 ~ 74	男							374(13)	176(6)		550(19)
	女										
	計							374(13)	176(6)		550(19)
75 ~ 79	男						170(6)	416(17)			586(23)
	女						345(12)	896(30)	672(23)		1913(65)
	計						515(18)	1312(47)	672(23)		2499(88)
80 ~ 84	男						247(9)	365(12)	365(12)		977(33)
	女							698(28)	349(12)		1047(40)
	計						247(9)	1063(40)	714(24)		2024(73)
85 ~ 89	男							752(27)	198(8)		950(35)
	女						640(22)	2059(70)	1708(57)		4407(149)
	計						640(22)	2811(97)	1906(65)		5357(184)
90 ~ 94	男						73(3)	655(22)	225(9)		953(34)
	女						1712(58)	4043(138)	2580(88)		8335(284)
	計						1785(61)	4698(160)	2805(97)		9288(318)
95 ~ 99	男							481(17)	118(4)		599(21)
	女						534(18)	1378(46)	365(12)		2277(76)
	計						534(18)	1859(63)	483(16)		2876(97)
100 ~	男						363(12)	16(1)			379(13)
	女							59(2)	300(10)		359(12)
	計						363(12)	75(3)	300(10)		738(25)
合 計	男						1583(54)	3059(109)	1447(51)		6089(214)
	女						3231(110)	9133(314)	5974(202)		18338(626)
	計						4814(164)	12192(423)	7421(253)		24427(840)

平均介護度: 4.11 男性: 3.99 女性: 4.15

平均年齢: 87.6 男性: 81.6 女性: 89.6

- 年齢は対象月の月初日の年齢（5歳刻み）で分類されています。
- 介護度は対象月内の（最も新しい）介護保険の介護度により振り分けられています。
- 平均介護度は要支援以下を0.375として計算しています。
- 各欄は下記の編集方法となります。
XXXX(XXX) 前半の数字は延日数。()内の数字は実人数を表示しています。

短期入所生活介護 年齢別利用者数

さつま園

令和3年4月 ~ 令和4年3月






印刷日 令和4年6月2日

年 区	齡 分	事業 対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	左記以外	合計
~ 59	男										
	女										
	計										
60 ~ 64	男						29(1)				29(1)
	女							33(2)			33(2)
	計						29(1)	33(2)			62(3)
65 ~ 69	男										
	女							2(1)			2(1)
	計							2(1)			2(1)
70 ~ 74	男							7(1)			7(1)
	女							142(12)			142(12)
	計							149(13)			149(13)
75 ~ 79	男				16(2)		7(4)	15(1)			38(7)
	女					26(2)		22(3)			48(5)
	計				16(2)	26(2)	7(4)	37(4)			86(12)
80 ~ 84	男				122(5)	16(1)					138(6)
	女				105(12)	32(3)	86(9)		3(1)		226(25)
	計				227(17)	48(4)	86(9)		3(1)		364(31)
85 ~ 89	男				25(2)	80(10)		85(4)	29(2)		219(18)
	女				217(11)	18(2)	38(10)	62(5)	30(2)		365(30)
	計				242(13)	98(12)	38(10)	147(9)	59(4)		584(48)
90 ~ 94	男				309(14)	45(3)	162(6)		8(1)		524(24)
	女				214(16)	7(2)	77(12)	510(30)			808(60)
	計				523(30)	52(5)	239(18)	510(30)	8(1)		1332(84)
95 ~ 99	男										
	女		3(1)	2(1)	96(12)	248(19)	185(14)	92(6)			626(53)
	計		3(1)	2(1)	96(12)	248(19)	185(14)	92(6)			626(53)
100 ~	男							8(1)			8(1)
	女										
	計							8(1)			8(1)
合 計	男				472(23)	141(14)	198(11)	115(7)	37(3)		963(58)
	女		3(1)	2(1)	632(51)	331(28)	386(45)	863(59)	33(3)		2250(188)
	計		3(1)	2(1)	1104(74)	472(42)	584(56)	978(66)	70(6)		3213(246)

平均介護度: 2.52 男性: 2.19 女性: 2.63

平均年齢: 88.5 男性: 86.7 女性: 89.0

- 年齢は対象月の月初日の年齢（5歳刻み）で分類されています。
- 介護度は対象月内の（最も新しい）介護保険の介護度により振り分けられています。
- 平均介護度は要支援以下を0.375として計算しています。
- 各欄は下記の編集方法となります。
XXXX(XXX) 前半の数字は延日数。()内の数字は実人数を表示しています。

理事長	所長	事務長	課長	相談員
				

令和3年度 実績報告・反省

さつま園 デイサービスセンター

<実績報告>

- ・年間延べ利用者数 — 7,491名（前年度比 — 554名増）
→年間延べ利用者数内訳（介護4,597名、総合事業2,894名）
- ・年間実利用者数 — 131名
- ・年間営業日数 — 305日（台風接近の為1日休業）
- ・年間1日平均 — 24.56名（詳細については別紙記載）

<反省>

・年間の実績においては延べ利用者数が前年度と比較し554名の減であった。新規利用者様は前年度と比べ12名減であったが、目立つのは10月以降の利用者数減であった。コロナウィルスによる利用者様の減少は家族等の県外からの帰省に対する1週間の利用制限が5月の連休、盆や年末年始の多い月で12～19名、年間で大きな影響があった。また、入院され退院後の施設入所や死亡、入所等も多く登録者数が減少した。4月は看護師が1名しかおらず職員減算を一月間実施した。利用者様が高齢化しており90歳以上の方々が半数を占めている状況である。入院されない環境づくりと、新規利用者様の獲得が必要である。

令和3年度実績報告書

さつま園 デイサービスセンター

年月日	延べ利用者数	実利用者数	介護延べ人数	介護実人数	予防延べ実人数	予防実人数	事業対象者延べ人数	事業対象者実人数	営業日数	1日平均数
R3. 4	702名(+20名)	111名	425名	61名	250名	45名	27名	5名	26日	27.00名
R3. 5	681名(-12名)	107名	410名	59名	248名	43名	23名	5名	26日	26.19名
R3. 6	700名(+30名)	108名	390名	60名	279名	43名	31名	5名	26日	24.61名
R3. 7	659名(-62名)	107名	395名	59名	236名	43名	28名	5名	27日	24.40名
R3. 8	567名(-35名)	108名	346名	61名	204名	43名	17名	4名	23日	24.65名
R3. 9	673名(+33名)	104名	419名	59名	230名	41名	24名	4名	25日	26.92名
R3. 10	649名(-69名)	105名	404名	59名	226名	42名	19名	4名	26日	24.96名
R3. 11	605名(-58名)	99名	383名	57名	203名	38名	19名	4名	26日	23.26名
R3. 12	588名(-104名)	99名	365名	55名	203名	40名	20名	4名	25日	23.52名
R4. 1	530名(-53名)	96名	328名	54名	183名	38名	19名	4名	24日	22.08名
R4. 2	547名(-91名)	99名	336名	58名	199名	39名	12名	2名	24日	22.79名
R4. 3	590名(-153名)	93名	365名	54名	211名	37名	14名	2名	27日	21.85名
計	7,491名	131名	4,597名		2,641名		253名		305日	24.56名
前年度比	(-554名)		(+278名)		(-583名)		(-249名)		(+1日)	(-1.90名)

※ 9/7台風接近の為、臨時休業

年齢別利用者数

サービス：通所介護
対象年月：令和3年4月～令和4年3月
出力対象：サービス記録(請求連動する記録)

年区	年齢分	事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	左記以外	合計
～ 59	男										
	女										
	計										
60～64	男										
	女										
	計										
65～69	男										
	女		18(5)								18(5)
	計		18(5)								18(5)
70～74	男										
	女		27(5)								27(5)
	計		27(5)								27(5)
75～79	男				55(12)						55(12)
	女		84(10)		50(13)	70(13)		32(4)			236(40)
	計		84(10)		105(25)	70(13)		32(4)			291(52)
80～84	男		17(5)	5(2)	41(5)	67(9)					130(21)
	女		89(23)	97(12)	292(43)	211(25)	210(29)	26(3)	88(13)	13(3)	1026(151)
	計		106(28)	102(14)	333(48)	278(34)	210(29)	26(3)	88(13)	13(3)	1156(172)
85～89	男		82(23)	17(3)	169(37)	160(24)					428(87)
	女		264(64)	557(76)	652(106)	129(12)	79(12)			26(4)	1707(274)
	計		346(87)	574(79)	821(143)	289(36)	79(12)			26(4)	2135(361)
90～94	男	37(10)	116(33)	43(7)	146(20)	151(19)	128(16)				621(105)
	女	113(26)	156(39)	686(103)	866(121)	86(16)	210(33)	45(11)			2162(349)
	計	150(36)	272(72)	729(110)	1012(141)	237(35)	338(49)	45(11)			2783(454)
95～99	男				49(4)	14(2)					63(6)
	女	103(12)	152(49)	231(33)	211(32)	264(39)	42(13)	14(2)			1017(180)
	計	103(12)	152(49)	231(33)	260(36)	278(41)	42(13)	14(2)			1080(186)
100～	男										
	女				1(1)						1(1)
	計				1(1)						1(1)
合計	男	37(10)	215(61)	65(12)	460(78)	392(54)	128(16)				1297(231)
	女	216(38)	790(195)	1571(224)	2072(316)	760(105)	541(87)	117(20)	88(13)	39(7)	6194(1005)
	計	253(48)	1005(256)	1636(236)	2532(394)	1152(159)	669(103)	117(20)	88(13)	39(7)	7491(1236)

平均介護度： 1.11 男性： 1.15 女性： 1.11 平均年齢： 89.0 男性： 88.9 女性： 89.1

- 年齢は対象月の月初日の年齢（5歳刻み）で分類されています。
- 介護度は対象月内の（最も新しい）介護保険の介護度により振り分けられています。
- 平均介護度は要支援以下を0.375として計算しています。
- 各欄は下記の編集方法となります。
XXXX (XXX) 前半の数字は延回数。 () 内の数字は実人数を表示しています。

理事長	所長	事務長	在宅課長	主任	係
柿添	柿添	芳坂 成元	石神		

令和3年度

事業実施報告書

さつま園

在宅介護支援センター

さつま園在宅介護支援センター

※ 年間目標に対しての反省点 ※

- ・ 居宅介護支援事業所のケアマネ業務のウェイトが大き
く、その業務や問題ケースへの対応に追われた。広く町
民への実態把握訪問活動や医療との連携及び民生委員と
の連絡・連携が十分ではなかった。
- ・ 新型コロナウイルスの感染予防対策からオレンジカフェ
の開催を行う事ができなかった。
- ・ 新型コロナウイルスの感染予防対策から訪問を自粛する
必要があり、民生委員や病院を含め積極的な訪問活動が
展開できず訪問件数が少なかった。

※ 評 価 点 ※

- ・ 地域包括支援センターや民生委員および行政機関からの
対応依頼に対しては、期限内に迅速な対応を行った。
- ・ 民生委員からの携帯への相談にも公休であっても対応
し、要望への対処を遅滞なく行った。
- ・ 問題ケースの対応を行政と一体となり取り組め、解決に
向けて積極的なアプローチが図れた。

- ・「ふれあいサロン」や「ころばん教室」への参加を継続的に行い、一般高齢者に対してのレクリエーションや健康体操、福祉相談の実施に取り組みが例年より数は少なかったが行えた。相談を頂ける機会も増えてきた。

相談実績票

在宅介護支援センター さつま園

対象期間：令和03年04月01日～令和04年03月31日

作成日付： 令和04年04月18日

1 / 3

I) 相談件数

【全体】	合計	電話	来所	訪問	その他
相談延べ件数	105	4	1	100	0
相談延人員	105	4	1	100	0
相談実人員	85	4	1	82	0
【通常相談】	合計	電話	来所	訪問	その他
相談延べ件数	105	4	1	100	0
相談延人員	105	4	1	100	0
相談実人員	85	4	1	82	0
【ケアマネ相談】	合計	電話	来所	訪問	その他
相談延べ件数	0	0	0	0	0
相談延人員	0	0	0	0	0
相談実人員	0	0	0	0	0

II) 相談内容別件数

【通常相談】	延件数	電話	来所	訪問	その他
01 介護・日常生活に関する相談	19	1	0	18	0
01 介護方法に関する相談	0	0	0	0	0
02 本人の心身に関する相談	17	1	0	16	0
03 介護者の心身に関する相談	0	0	0	0	0
04 認知症に関する相談	0	0	0	0	0
05 退院後の生活に関する相談	1	0	0	1	0
06 その他	1	0	0	1	0
02 サービスの利用に関する相談	85	3	1	81	0
01 介護保険サービス	20	3	0	17	0
02 保健福祉サービス	65	0	1	64	0
01 食の自立支援事業	61	0	0	61	0
02 外出支援サービス事業	0	0	0	0	0
03 介護用品支給事業	2	0	0	2	0
04 緊急通報装置事業	2	0	1	1	0
05 徘徊高齢者緊急通報体制整備事業	0	0	0	0	0
06 高齢者福祉電話貸与事業	0	0	0	0	0
07 その他	0	0	0	0	0
03 医療に関する相談	0	0	0	0	0
04 家計に関する相談	0	0	0	0	0
05 家族・社会関係に関する相談	0	0	0	0	0
06 権利擁護に関する相談	0	0	0	0	0
01 成年後見に関する相談	0	0	0	0	0
02 金銭管理に関する相談	0	0	0	0	0
03 消費者被害に関する相談	0	0	0	0	0
04 身元保証（入院・入所等）に関する相談	0	0	0	0	0
05 死後事務に関する相談	0	0	0	0	0
06 高齢者虐待に関する相談	0	0	0	0	0
01 身体的虐待に関する相談	0	0	0	0	0
02 ネグレクトに関する相談	0	0	0	0	0
03 心理的虐待に関する相談	0	0	0	0	0
04 性的虐待に関する相談	0	0	0	0	0
05 経済的虐待に関する相談	0	0	0	0	0
06 その他	0	0	0	0	0
07 その他	1	0	0	1	0
計	105	4	1	100	0

相談実績票

在宅介護支援センター さつま園

対象期間： 令和03年04月01日～令和04年03月31日

作成日付： 令和04年04月18日

3 / 3

IV) 対象者の年齢

年齢区分	実人員			計
	男	女	その他	
～ 59	0	0	0	0
60 ～ 69	1	1	0	2
70 ～ 79	6	4	0	10
80 ～ 89	19	24	0	43
90 ～	7	23	0	30
計	33	52	0	85

V) 相談者の内訳

対象者との関係	延人数
01 本人	0
02 家族	0
01 同居家族	0
02 別居家族	0
03 地域の役員	0
04 民生委員	0
05 介護相談員	0
06 近隣・知人	0
07 その他	0
08 医療機関	0
09 介護保険施設	0
10 介護保険外施設	0
11 居宅介護支援事業所	0
12 居宅介護サービス事業所	0
13 社会福祉協議会	0
14 在宅介護支援センター	0
15 行政機関職員	0
16 地域包括支援センター（他市町村）	0
17 その他	0
※相談者の登録はあるが、関係の設定なし	25
計	25

VI) 相談などの時間帯

時間帯	合計	電話	来所	訪問	その他
AM 04:00 ～ AM 06:58	0	0	0	0	0
AM 07:00 ～ AM 11:59	48	2	1	45	0
PM 12:00 ～ PM 05:59	57	2	0	55	0
PM 06:00 ～ PM 09:59	0	0	0	0	0
PM 10:00 ～ PM 11:59	0	0	0	0	0
AM 12:00 ～ AM 03:59	0	0	0	0	0
計	105	4	1	100	0

理事長	所長	事務長	在宅課長	主任	係
補添	補添	坂元 芳成	石神	上野 守	

令和3年度

実績・反省

さつま園ヘルパーステーション

令和3年度 実績報告

さつま園ヘルパーステーション

◎実動時間 2,191 時間

◎実人数 39 名

◎前年度比 81.03% 【△512 時間 45 分】

	時間	件数
身体介護	608 時間	1,143 件
生活援助	599 時間	612 件
身体生活	245 時間	230 件
介護予防・総合事業	739 時間	739 件
合計	2,191 時間	2,724 件

- ・身体介護 8 時間、生活援助 152 時間 45 分増えました。
- ・身体生活 302 時間 30 分、介護・総合事業 371 時間少なかった。
- ・毎日型の生活援助がなく、寝たきりのおむつ交換も 1 件のみで週 1 回の訪問でした。

令和3年度 反省

- ・利用者様の状態把握に気をつけて、少しの変化、状態をスタッフ間、ケアマネジャーに報告・連絡できた。
- ・利用者様家族とも連絡を取り合い、状態や相談等を行うことができた。
- ・認知症で被害妄想の方も多くなっています。声かけ、傾聴に努めコミュニケーションをとりながら支援できました。
- ・新型コロナウイルス感染について、さつま園での開催される予防対策会議の内容を再考検討し、訪問時マスク着用、消毒、検温、換気おこなっています。今後も新型コロナウイルスについての情報収集し感染拡大予防対策を徹底します。

理事長	所長	事務長	在宅課長	主任	係
柿添	柿添	芳坂成元			

令和3年度 事業実績報告書

居宅介護支援事業所さつま園

令和3年度事業実績報告・反省

居宅介護支援事業所 さつま園

介護給付 1012件 前年度比 77件増

予防給付 106件 前年度比 49件減（事業対象者31件含）

反省

- ・介護給付については、前年度と比較して給付件数が増えたが予防給付は減少した。要因として、要支援者が要介護に移行した方が多かったことやご家族、病院などから直接の相談も増えた。相談内容は多岐に渡り、ニーズも様々であった。家族の介護状況も複雑で、困難ケースについては、医療機関や行政、地域包括支援センター等と話し合いを重ねたが、方向性を見出すことは容易ではなかった。課題については今後も各サービス事業所や医療、関係機関、地域の民生委員等と連携を図りながら進めていくことが大切である。
- ・新型コロナウイルス感染予防対策について、昨年度と同様に感染対策に注意を払い業務を行った。ご利用者やご家族に介護サービ

ス利用制限の協力についてご理解を求め、各サービス事業所との調整を図りながら感染対策に努めることができた。幸いご利用者に感染者が発生することなく経過できた。また、病院や施設の面会制限により、ご利用者の状態把握が困難で退院退所後のマネジメントがスムーズに行えなかった面がある。今後は、個人情報保護に留意しながら、面談以外の連携方法について検討していく必要性を感じる。

- ・住み慣れた自宅でご本人、ご家族が望まれる生活が実現できるよう努めていきたいと思う。